



## 2025年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）



2025年4月10日

上場会社名 日本BS放送株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9414 URL https://www.bs11.jp  
 代表者（役職名）代表取締役社長 社長執行役員（氏名）近藤 和行  
 問合せ先責任者（役職名）取締役 執行役員（氏名）松友 大輔（TEL）03（3518）1900  
 半期報告書提出予定日 2025年4月11日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年8月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年9月1日～2025年2月28日）

## （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期中間期	5,889	△0.8	1,159	25.0	1,174	26.2	801	24.9
2024年8月期中間期	5,936	△1.7	927	△16.4	930	△16.2	642	△15.0

（注）包括利益 2025年8月期中間期 801百万円（24.9%） 2024年8月期中間期 642百万円（△15.0%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期中間期	45.00	44.93
2024年8月期中間期	36.05	36.01

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期中間期	25,845	23,882	92.3
2024年8月期	25,894	23,598	91.1

（参考）自己資本 2025年8月期中間期 23,848百万円 2024年8月期 23,581百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2025年8月期	—	0.00			
2025年8月期（予想）			—	30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,314	0.6	2,004	△3.8	2,032	△3.1	1,407	△3.3	78.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年8月期中間期	17,816,932株	2024年8月期	17,816,932株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年8月期中間期	237株	2024年8月期	237株
-------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数(中間期)

2025年8月期中間期	17,816,695株	2024年8月期中間期	17,813,646株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の回復のほか、各種政策の効果もあり、緩やかに景気回復しております。一方、円安による物価上昇を背景として個人消費には伸び悩みが見られる等、今後も引き続き、金融資本市場の変動等の影響を十分注視する必要があります。

当社を取り巻くBSデジタル放送業界は、動画配信サービス市場の拡大等で、ビジネスの機会が拡大する等、環境が大きく変化している中、テレビメディア広告費は、1兆7,605億円(前年比101.5%)となり、そのうち当社を含む衛星放送メディア関連の広告費は、1,254億円(前年比100.2%)となっております。(「2024年 日本の広告費」(樹電通調べ))

このような状況下、当社は「質の高い情報を提供することで人々に感動を与え、幸せな社会づくりに貢献します」を経営理念として中長期的な成長を実現するため、重点施策「Value(バリュー)4」を掲げ、引き続き、「コンテンツ価値の向上」、「『稼ぐ力』の再構築」、「放送周辺事業の強化・発展」、「企業価値向上のための戦略的投資」をテーマに、放送事業に加え、その他の様々な施策に取り組みました。

#### [放送事業収入]

当中間連結会計期間の放送事業収入は、5,120,846千円(前年同期比1.0%減少)となりました。

タイム収入は、前期放送の大型スポーツ特番の反動減が見られたものの、競馬中継等の公営競技が好調となったほか、ショッピングが引き続き堅調に推移したことにより、前年同期比増収となりました。一方、スポット収入は、新規取引先の獲得等に注力したことで、回復の兆しが見られましたが、前年同期比減収となりました。

番組施策では、2024年10月より放送開始した大人の歌謡&トーク番組『鶴瓶のええ歌やなあ』や『偉人・敗北からの教訓』等のレギュラー番組のほか、年末年始に放送した『八代亜紀さん一周忌 あなたが選ぶ名曲集!』や『TOKYO FM 少年合唱団 クリスマスコンサート2024 ~ 天使の歌声降るクリスマス ~』、『新春2時間スペシャル! 昭和100年 スター列伝 お宝映像一挙公開!』等の特別番組が売上に寄与いたしました。

また、「ANIME+」枠では、『沖縄で好きになった子が方言すぎてツラすぎる』『キン肉マン 完璧超人始祖編 Season 2』『ギルドの受付嬢ですが、残業は嫌なのでボスをソロ討伐しようと思います』等、当中間期においても製作委員会参画作品を含むアニメ関連番組を約40タイトル放送いたしました。このほか、幅広いアニメファンのニーズに応えるべく、2025年元日には、『アニメロサマーライブ2024 -Stargazer- powered by Anison Days』をテレビ独占放送いたしました。

日中帯を中心とするドラマ枠では、BS視聴者層と親和性の高いコンテンツとして、『江湖英雄伝~HEROES~』や『魔女のゲーム』、『名探偵ポワロ』、『深夜食堂』等、BS初放送のコンテンツを含む様々なジャンルのコンテンツを編成いたしました。

#### [その他事業収入]

その他事業収入は、768,943千円(前年同期比0.9%増加)となりました。アニメ製作委員会参画作品の出資配当収入が好調となったほか、配信コンテンツのラインアップを強化・拡充したことによるBS11公式YouTubeチャンネルやTVer等の各配信サイトにおける配信事業収入も好調に推移いたしました。

更に、イベント事業では、2024年12月に、ジャズコンサート「SUPER SESSION ~Precious Jazzy Time~」、2025年2月にスペシャルコンサート「我ら演歌第7世代! BS11若手人気スター歌謡ショー」をそれぞれ開催する等、新たな試みを積極的に実施したほか、2024年12月には、(株)文化放送との協業コンテンツ『ワールドダイスター-RADIO☆わらじ』の番組派生イベントの第3弾を開催する等、イベント事業拡大に向け、他社と協業したイベント事業の展開にも取り組みました。

#### [費用]

原価部門では、当中間期では既に放送終了している、前年のレギュラー番組等にかかる費用の反動減や、放送月の変更による下期への費用の月ズレが見られたほか、2023年4月に実施した当社スタジオ設備更新にかかる減価償却費の負担が軽減し、費用減となりました。また、販管部門では、コスト効率を意識した広告宣伝施策の実施により、広告宣伝費を中心に費用減となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は 5,889,789千円(前年同期比 0.8%減少)となりました。営業利益は 1,159,213千円(前年同期比 25.0%増加)、経常利益は 1,174,311千円(前年同期比 26.2%増加)、親会社株主に帰属する中間純利益は 801,745千円(前年同期比 24.9%増加)となりました。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

### ①資産・負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ 49,306千円減少し、25,845,122千円(前連結会計年度末比 0.2%減少)となりました。主な要因は、棚卸資産が 58,871千円、流動資産のその他に含めて表示している有価証券が 99,761千円、投資その他の資産に含めて表示している投資有価証券が 896,319千円増加したものの、現金及び預金が 547,505千円、受取手形及び売掛金が 325,938千円とそれぞれ減少したことに加え、固定資産の減価償却が進み、有形固定資産が 217,085千円、無形固定資産が 9,868千円減少したこと等によるものであります。

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ 332,633千円減少し、1,962,888千円(前連結会計年度末比 14.5%減少)となりました。主な要因は、買掛金が 71,882千円、流動負債のその他に含めて表示している未払消費税が 145,204千円、未払金が 86,108千円減少したこと等によるものであります。

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ 283,327千円増加し、23,882,234千円(前連結会計年度末比 1.2%増加)となりました。主な要因は、利益剰余金が、前連結会計年度の期末配当 534,500千円により減少したものの、親会社株主に帰属する中間純利益 801,745千円の計上に伴い 267,244千円増加したこと等によるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は 4,604,961千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、993,647千円(前年同期は 1,184,080千円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益 1,174,311千円の計上及び法人税等の支払額 346,591千円等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2,006,146千円(前年同期は 9,497千円の使用)となりました。これは主に定期預金の預入による支出 1,000,000千円、投資有価証券の取得による支出 995,030千円等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、535,006千円(前年同期は 463,551千円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払額 534,211千円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月期の連結業績予想につきましては、2024年10月10日付の「2024年8月期 決算短信」で公表しました連結業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (2025年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,152,467	13,604,961
受取手形及び売掛金	2,230,431	1,904,493
棚卸資産	528,656	587,528
その他	130,028	197,309
流動資産合計	17,041,584	16,294,293
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,120,807	2,068,026
土地	4,034,756	4,034,756
その他(純額)	933,005	768,700
有形固定資産合計	7,088,569	6,871,483
無形固定資産	50,933	41,064
投資その他の資産	1,713,341	2,638,281
固定資産合計	8,852,844	9,550,829
資産合計	25,894,429	25,845,122
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	793,066	721,184
未払法人税等	391,048	434,963
その他	982,863	676,812
流動負債合計	2,166,979	1,832,959
固定負債		
退職給付に係る負債	107,332	109,513
その他	21,211	20,416
固定負債合計	128,543	129,929
負債合計	2,295,522	1,962,888
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,190,714	4,190,714
資本剰余金	3,524,504	3,524,504
利益剰余金	15,865,996	16,133,240
自己株式	△234	△234
株主資本合計	23,580,980	23,848,225
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69	153
その他の包括利益累計額合計	69	153
新株予約権	17,856	33,855
純資産合計	23,598,906	23,882,234
負債純資産合計	25,894,429	25,845,122

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
売上高	5,936,737	5,889,789
売上原価	3,168,355	2,942,201
売上総利益	2,768,381	2,947,587
販売費及び一般管理費	1,840,752	1,788,374
営業利益	927,628	1,159,213
営業外収益		
受取利息及び配当金	67	10,231
受取派遣料	—	3,600
その他	3,200	1,425
営業外収益合計	3,268	15,256
営業外費用		
支払利息	425	159
営業外費用合計	425	159
経常利益	930,471	1,174,311
税金等調整前中間純利益	930,471	1,174,311
法人税、住民税及び事業税	310,951	395,827
法人税等調整額	△22,635	△23,261
法人税等合計	288,315	372,565
中間純利益	642,155	801,745
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	642,155	801,745

## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
中間純利益	642,155	801,745
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	84
その他の包括利益合計	—	84
中間包括利益	642,155	801,830
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	642,155	801,830
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	930,471	1,174,311
減価償却費	300,257	235,145
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,492	18,032
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	960	2,181
受取利息及び受取配当金	△67	△10,231
支払利息	425	159
売上債権の増減額(△は増加)	369,098	325,938
棚卸資産の増減額(△は増加)	△100,924	△58,871
仕入債務の増減額(△は減少)	22,328	△71,882
未払金の増減額(△は減少)	△237,983	△84,641
未払費用の増減額(△は減少)	△31,232	△31,268
未払消費税等の増減額(△は減少)	96,730	△145,204
その他	63,008	△20,732
小計	1,418,563	1,332,934
利息及び配当金の受取額	67	7,463
利息の支払額	△425	△159
法人税等の支払額	△234,124	△346,591
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,184,080	993,647
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△1,000,000
有形固定資産の取得による支出	△5,430	△6,352
無形固定資産の取得による支出	△3,895	—
投資有価証券の取得による支出	—	△995,030
保険積立金の解約による収入	2,211	1,996
その他	△2,383	△6,759
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,497	△2,006,146
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	60,000
短期借入金の返済による支出	—	△60,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△795	△795
配当金の支払額	△462,763	△534,211
その他	7	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△463,551	△535,006
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	711,031	△1,547,505
現金及び現金同等物の期首残高	13,599,917	6,152,467
現金及び現金同等物の中間期末残高	※ 14,310,948	※ 4,604,961

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
現金及び預金	14,310,948千円	13,604,961千円
預入期間が3か月を超える定期預金	一千円	△9,000,000千円
現金及び現金同等物	14,310,948千円	4,604,961千円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

当社グループには、BSデジタル放送事業以外の重要なセグメントがないため、セグメント情報の記載を省略しております。